

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大砂土中学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1)主体的に学びを進めることができる資質・能力 (2)正しく思考、判断し、的確な言葉で相手に伝えることができる資質・能力
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	・繰り返し取り組むことで「できた」「わかった」という体験を積み上げる授業の実施。【各単元】 ・自分や友達の意見を尊重するコミュニケーション活動の設定【各単元】 ・自分の学びの振り返りをする時間の設定。【単元末】

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
	↓	さいたま市学習状況調査(学力) <小3～中3>(1月)
今年度の成果と 次年度の課題		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されな いと思いますか」「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできて いますか」という質問に対する肯定的な回答が全国平均よりも大幅に高い回答であった。 ・国語の「表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことができるかど うかをみる」問題や、数学の「事柄が成り立つ理由を文字を使って説明するための方針を立てることができるかどうか をみる」問題に少し課題がみられた。
結果から考えられる 児童生徒の実態	・主体的に学びを進めようとする生徒が増えてきている。 ・正しく思考、判断し、的確な言葉で相手に伝えることに引き続き課題がみられ る。

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	学力向上策の充実 ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業
結果から考えられる 児童生徒の実態	

③	中間評価
学力向上策の 実施状況	評価(※) B
学力向上策の 見直し	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)